

県内の少年非行(平成29年中)

兵庫県警察本部少年育成課

注: 数値は、平成28年は確定値、平成29年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成29年中、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は2,416人で前年同期(2,701人)に比べて285人(10.6パーセント)減少、不良行為少年は29,500人で、前年同期(36,067人)に比べて6,567人(18.2パーセント)減少している。

区分	年別	平成29年	平成28年	増減	
				人員	率(%)
非 行 少 年	刑法犯	1,457	1,710	-253	-14.8
	触法少年	494	575	-81	-14.1
	計	1,951	2,285	-334	-14.6
	特別法犯	235	241	-6	-2.5
	触法少年	64	50	14	28.0
	計	299	291	8	2.7
	ぐ犯少年	166	125	41	32.8
合計	2,416	2,701	-285	-10.6	
不良行為少年		29,500	36,067	-6,567	-18.2

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成29年		平成28年		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
刑法犯少年		1,951	100	2,285	100	-334	-14.6
凶悪犯		20	1.0	40	1.8	-20	-50.0
粗暴犯		320	16.4	350	15.3	-30	-8.6
窃盗犯		1,160	59.5	1,307	57.2	-147	-11.2
知能犯		34	1.7	20	0.9	14	70.0
風俗犯		51	2.6	46	2.0	5	10.9
その他		366	18.8	522	22.8	-156	-29.9
うち占離		158	8.1	235	10.3	-77	-32.8

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成29年		平成28年		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		1,951	100	2,285	100	-334	-14.6
未就学							
小学生		247	12.7	239	10.5	8	3.3
中学生		618	31.6	812	35.5	-194	-23.9
高校生		566	29.0	701	30.7	-135	-19.3
その他学生		86	4.4	110	4.8	-24	-21.8
有職		284	14.6	261	11.4	23	8.8
無職		150	7.7	162	7.1	-12	-7.4

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成29年		平成28年		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		1,058	100	1,224	100	-166	-13.6
万引き		555	52.5	601	49.1	-46	-7.7
オートバイ盗		129	12.2	144	11.8	-15	-10.4
自転車盗		216	20.4	244	19.9	-28	-11.5
占有離脱物横領		158	14.9	235	19.2	-77	-32.8
刑法犯少年に占める率(%)		54.2	—	53.6	—	0.6	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の15.2パーセント(前年同期比-2.8ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の59.5パーセントを占め、次いで粗暴犯の16.4パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(15,859人)と深夜はいかい(11,076人)が全体の91.3パーセントを占めている。